

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や語彙などの基礎的な知識を定着させていく必要がある。 読解力や書く力(文章構成の理解や語句の使い方、文の対応など)の向上を図るための指導の工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間授業の初めに漢字学習を行う。 文章構造の基本や作文の基本を教え、身に付けさせるための学習を進めていく。 文章を読んで考えをまとめるなど、生徒が自ら考えて書く学習を取り入れていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識・理解の定着を図り、社会的な見方・考え方を身に付けさせていく。 主体的な活動を通して、主体的に学習に取り組む態度を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の理解にむけて主体的に取り組む活動を行う。また知識の定着にむけ反復学習を行う。 学習の状況を記録し、自らの学びの深まりや変化、気づきを確認できるようにする。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識・理解の定着を図り、四則演算などを確実にできるようにする。 数学的な考え方や読解力を高める必要がある。 言語活動を効果的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算問題や小テストを反復練習させて基礎的内容のより確実な習得を図る。 用語や文脈を押さえて文章から立式にするポイントをおさえ、考え力を身に付けるようにし、反復学習を行う。 ICTを利用し表現の機会を多く取り入れるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識・理解の定着を図り、自然の事物・現象について、理科的な見方・考え方ができるようにする。 実験・観察の結果を正しく記録し、グラフや表にして、自然の事物・現象をより正確に分析・解釈し、考察、表現する力を高めることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストやICTを用いて基礎的・基本的な知識の理解を図った上で、観察・実験の方法や結果の処理について取り組ませる。その結果から分かることを考え、自分の言葉で表現することにより、自然現象について理解させる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞や創作活動に、積極的に取り組んでいる。 リコーダーや歌唱に難しさを感じる生徒がいる。 音楽を形作っている要素とそれらの働きを表す用語や記号についての理解を深めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 創作活動においては、表現したいイメージをもたせ、積極的に発表できる機会を作る。 個人で練習できる教材を配布したり、声掛けをおこなっていく。生徒同士で教え合う時間を作る。 音楽用語などについては、プリント等を使用して少しずつ理解させる。また、個別対応が必要な生徒には丁寧に指導していく。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 美術の各題材に意欲的に取り組み、積極的に授業に取り組んでいる。 作品づくりの見通しをもって、自ら調整する力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材を通した授業計画を確認し、見通しをもって取り組み、結果を振り返り、工夫を重ねさせる。 ICT利活用や言語活動など、作品づくり以外の表現活動も取り入れることで、主体的に学習に取り組む態度を養っていく。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律をしっかりと行い、正しい判断ができるようにする必要がある。 初めの知識技能の基礎を大切にする、段階的な指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の動きや流れを説明し、授業ごとに身に付けることを把握できるようにしていく。 一つ一つの技術をスモールステップで行い、積極的に行える状況を作っていく。

技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに対する興味関心が高い。木材加工の知識、製作手順、作業の安全をわかりやすく理解させることが課題である。 ・学習課題の取り組みに遅れがちな生徒がみられる。 ・発問には積極的に応答し、意欲的に授業に取り組んでいる。 ・提出物の期限や様式に関して理解していない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明、プリント、ワークなどを通して、生徒にわかりやすく工夫した取り組みをする。 ・個々の生徒の状況に応じた学習指導をする。 ・提出物に関しては口頭のみではなく、教科からの連絡事項を教室に掲示するなどして提出を促す。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティには積極的に取り組んでいる。 ・発音はできるが、英語を書くことに苦手意識をもつ生徒が多い。 ・家庭学習の習慣がまだ身に付いていない生徒が多いので、基礎基本の定着に時間がかかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習用に配るプリントに詳しく説明を載せて、家庭学習に取り組みやすくする。 ・ノートの作り方を丁寧に説明し、单元ごとにノートを作らせる。 ・前時の授業内容の復習を丁寧に行い、基礎基本の定着を徹底する。